

七夕の願い事



今年も、ご入居者様に短冊にお願い事を書いて頂きました。多くは「元気で過ごせますように」と言うお願い事でしたが「二〇歳に戻りたい」「二〇歳まで生きる」「中には「腹いっぱい、酒のみたい」等、クスッと微笑ましいお願い事もありました。「職員さんのお給料が大幅にアップしますように」と書いて下さった方もありました。どんなお願い事も叶うと良いなと願っております。

道央佐藤病院 白老高齢者複合施設

花つむぎ便り

二〇二五年九月一日発行
第一三二号

花つむぎ花火大会



すっかり花つむぎの恒例行事の一つになった、夏の終わりの花火大会。今年も、職員のお子さんも多く参加してくれ、入居者の皆さんは、花火よりも、小さな子供たちに目を細めてうっしやいました。子供たちと童心に返り、今年も花火を楽しまれました。

ツバメの巣～続報～



先月のお便りでもご紹介した、花つむぎに巣作りしたツバメ親子のその後です。ヒナ達は日に日に大きくなり、巣がみちみちになっている姿がとても可愛らしかったです。親鳥が帰って来ると二斉に鳴きご飯を貰っていました。そしていつの間にか、皆無事に巣立ちをして行きました。今でも時々玄関先で、少し小ぶりのツバメを見る事があります。来年また帰って来てくれると良いなと思っております。

特別食の「とつきびご飯」は「今まで生きてきて、初めて食べたよー美味しいね」とおっしゃる方もいました。「鯛のあら汁」も皆さん「美味しいね」と。いつも言われてしまう事ですが「毎日、こんなご飯なら良いな」とのお言葉をいただきました。



誕生会
特別メニュー